

愛媛県 武道館 だより

第13号

平成20年11月
愛媛県武道館発行
〒790-0948
松山市市坪西町551
(☎089-965-3111)
<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

愛媛県武道館新築5周年を迎えて

館長 秋川 秀美

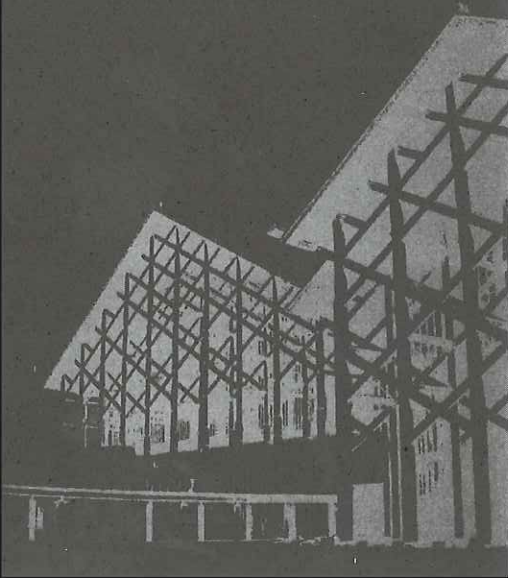
松山市道後姫塚にあった旧武道館が、平成15年10月1日に現在の松山中央公園内に新武道館として移転・新築され、本年で5周年を迎えました。これまで、この「愛媛県武道館」をご活用いただくとともに、ご支援・ご協力をいただいた武道団体関係者をはじめ多くの方々に深く感謝を申し上げます。

当館は、樹齢百年を越える丸太杉や、菊間瓦、大島石など、県産材をふんだんに用い、愛媛らしさあふれる国内有数の武道館であります。開館以来、この規模の大きさ、優れた機能が活かされ、武道をはじめとする各種スポーツ大会や5・6千人が入場できる文化活動やイベントなど多彩な催物の会場としてご利用いただいております。特に国際規模の「媛の国柔道フェスティバル」や「全日本東西対抗剣道」「全国学生なぎなた」「全国高校空手道選抜」などの全国大会に加え、記念の年である本年10月には「全国育樹祭」の式典会場となり、全国にその名を知られるところとなりました。

また、日頃は多くの方々に健康・体力づくりの場として楽しくご利用いただいております。中でも専門の講師などによる「スポレク教室」やトレーニングルームも徐々に評価をいただき、スポーツの振興・普及、コミュニティづくりの拠点として定着化しつつあることを大変喜ばしく存じます。

今後とも、県民の皆様お一人おひとりに愛され親しまれる武道館として、武道・室内スポーツ・各種イベントなどに活用いただけるよう職員一同一層努力して参る所存です。どうか引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年10月



第32回全国育樹祭(リズムなぎなた)に参加して

愛媛県なぎなた連盟
村上 礼

2008年10月26日(日)愛媛県武道館において、第32回全国育樹祭が行われ、北条高等学校なぎなた部8名・北条なぎなたスポーツ少年団7名・指導者2名でリズムなぎなたを披露させていただきました。

リズムなぎなたを披露することが決まったのは約1年前でしたが、北条高校生も北条スポーツ少年団もそれぞれの活動に追われ、選曲・構成はもちろん、合同でリズムなぎなたの練習をすることすらできていませんでした。愛媛県武道館での全国育樹祭、武道団体としての参加はなぎなた連盟のみであるということも多少のプレッシャーとなり、具体的な動きは何も進まず、気持ちだけがあせる日々が続きました。特に、選曲においては「愛媛らしい曲」ということでなかなか決めることができず時間がかかりましたが、「宇和島ガイヤ」の曲をいただき、やっと構成に入ることができました。

構成が進み、10月初旬に完成。合同練習を重ね、前日リハーサルの日が来ました。いつも練習をしていた北条高校の武道場との違いに戸惑いながらのリハーサルとなり、位置取りが思うようにいきませんでした。大きな失敗もなく何とか演技を終えました。



いよいよ本番、早朝から愛媛県武道館に入り、剣道場で最終調整をしました。高校生の技が思ったように上手く出来ず、ぎりぎりまで不安でしたが、いざ本番となると全員が素晴らしい集中力を見せ、最高のリズムなぎなたとなりました。

練習を始めた頃は、「本当に完成するのだろうか。」また、「小学生は覚えることができるのだろうか。」など、さまざま不安がありました。しかし、子どもたちの熱心に練習する様子や年齢を超えた団結力、そしてリズムなぎなたを披露し終えた後の充実感を味わえたことは、何にも代え難い貴重な経験となりました。

このような機会を与えてくださった方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

第50回全国教職員剣道大会を終えて

愛媛県学校剣道連盟
菅 幹博

8月10日(日)、愛媛県武道館を会場として、全国の学校関係剣道愛好者が集う、「全国教職員剣道大会」が愛媛県では初めて開催の運びとなりました。

この大会は今回で50回目を迎え、半世紀の歴史を持つ威厳のある大会となりました。愛媛県学校剣道連盟では、2年前より視察を開始し、昨年の大分県には10名余りのスタッフが同行し視察を重ね、今大会の準備に取りかかりました。物品一つ一つのことを検討しなければならず、今大会まで各県がなされたであろうご努力を思わずにはいらませんでした。

8月7日には、全会員が武道館に参集し準備を行いました。元々、愛媛が世界に誇る武道館らしく、準備にはそれほどの苦勞は要しませんでした。

8月8日には本部より事務局員が到着し、会場の点検や物品の確認などがおこなわれ、いよいよ大会が始めるという緊張感が沸いてくるようになりました。

8月9日、講習会と選手の視察、会場での練習、全体でのリハーサルが行われました。全国各地から来られた選手たちは、一様に愛媛県武道館に圧倒されたようで、どの県の選手も練習前や練習後に武道館の各施設を見学していました。中には顔見知りの選手もあり、「すばらしい武道館だね」と声をかけていただきました。また、次回開催県の滋賀県、次々回開催県の山口県には「こんな立派なところでされたらあとが大変だ」などという声も聞こえてきました。各県ともに練習が終わりいよいよ大会を残すのみとなりました。

8月10日、快晴。1年間準備を重ねてきた大会がいよいよ開催されます。当日は、愛媛県知事加戸守行様、松山市長中村時広様、愛媛県教育委員会教育長藤岡澄様をお迎えし、盛大に開会式を終えた後、個人戦、団体戦の順番で試合が行われました。

愛媛県チームも精鋭7名をそろえこの大会に臨みました。このチームは前年の大分大会においても団体ベスト8に輝いており、本年度も上位進出が期待されました。まずは個人戦、県内でも実力者である3名の選手が、「義務教育の部」「高校・大学・教育委員会の部」「女子の部」に分かれて出場しました。特に「女子の部」に出場した聖カタリナ大学剣道部コーチ本田教諭には上位進出の期待がかりましたが、そこは全国の強者揃いの大会、惜しくも3位に入賞した茨城県の選手に惜敗しました。

続いて団体戦が始まりました。ここでスタッフの頭をよぎったのは前年度、大分県で開催された第49回大会でした。満を持して出場した大分県選手団は、次回開催県として視察していた愛媛県選手団の前で、初戦で敗れたのです。このことが少しだけ頭をよぎって迎えた初戦、山口県との試合、先鋒 山地選手(丹原高校)がさい先よく2本勝ちしその不安を消してくれました。続く高橋選手(今治精

華高校)も2本勝ち、中堅 豊水選手(小田高校)も動きよく2本勝ち。あっという間に連続ポイントを上げ勝利が決定しました。続く門岡選手(今治南中学)は、変剣の相手に苦戦するも大将 渡部選手(新田高校)が2本勝ちでまとめ、初戦を勝ち上がりました。続く相手は、優勝経験もある兵庫県です。宮本武蔵の故郷として剣豪も多く、対戦チーム



も名をはせる選手ばかりでしたが、本県選手はここでも本領を発揮し、先鋒、次鋒が連続勝ちを収め試合を楽にして3-2の僅差ながら勝利しました。4回戦の相手は、強豪和歌山県です。高校の練習試合などでよく知り合った選手同士でしたが、この戦いにおいて準決勝進出が決まるとあって両チームとも緊迫したムードで勝負を迎えました。その緊迫を打ち破るように先鋒山地、中堅豊水と勝ちを収め、副将門岡の活躍もあり、3-1で勝利しました。いよいよ準決勝戦です。この戦いに勝てば夢にまで見た決勝戦です。過去この大会で愛媛県の前輩方は健闘されましたが、決勝への進出はなく、初めての決勝進出をかけた準決勝戦でした。相手は前年度準優勝の茨城県です。ここまで、本県は先鋒山地、中堅豊水が3勝と波に乗っていました。山地は茨城の鈴木にも勝利を収めました。豊水は引き分け、大将戦で相手の大将がひき面を一本とし1-2で惜敗しました。愛媛県チームはそれでも50回大会始めて以来初めての第3位に輝き、会員一同、大会運営を進めながら涙の出る思いでした。

大会は、団体戦は大阪府が22年ぶりの優勝を収め、個人戦でも名だたる選手が勝利を収め盛会裡に大会を終了することができました。(下記表参照)

部門	優勝	準優勝	第3位	第3位
団体戦の部	大阪府	茨城県	愛媛県	北海道
高校・大学・ 高専・教委の部	菊川省吾 鳥取県米子東高	森 大樹 高知県明徳義塾高	安田武志 鹿児島県武岡台高	有馬裕史 神奈川県大和高
義務教育の部	三宅聡史 岡山県玉島北中	野田敬義 佐賀県弘学館中	新井健一 群馬 豊受小	藤野照明 山口 勝山中
女子の部	下川美佳 鹿児島県鹿屋体育大	本多美和 大分 大分中	相馬沙織 茨城水戸農業高	杉本早恵子 京都日吉ヶ丘高

すばらしい会場、すばらしいスタッフ、そして影ながら応援いただいた愛媛県剣道連盟会員の皆様のおかげで、50回記念大会としてふさわしい大会ができ、大変うれしい思いのした3日間でした。

末尾になりましたが、この大会のためご尽力を賜りました、愛媛県ならびに松山市、物心両面に涉るご指導を賜りました愛媛県剣道連盟会長始め役員の皆様そして会員の皆

様、大会期間中、何かとご迷惑をおかけしながらも快く対応していただきました愛媛県武道館のスタッフの皆様にも、心よりお礼を申し上げ大会報告といたします。ありがとうございました。

第10回国際合気道大会 に参加して

愛媛県合気道連盟
会長 松森 國彦

田辺市出身の合気道開祖・植芝盛平翁の没後40周年を記念した第10回国際合気道大会が、合気道開祖生誕の地、和歌山県田辺市で、前夜祭のコンサートを含めて、10月5日から12日まで、高山寺で「開祖を偲ぶ会」を皮切りに、田辺市勤労者体育センターで「国内外の師範による講習会」、熊野本宮大社旧社地・大齋原で「奉納演武会」、シティプラザホテルで「歓迎パーティ」、などが開催された。

合気道の門人が、海外48の国から620人、国内から1000人余りが参加し、日頃静かな世界遺産・熊野古道で知られている田辺の町は外国人があふれる町と化していた。

参加者は、植芝家の菩提寺である高山寺を訪れ盛平翁の墓に参ったり、国内外の活躍されている著名な高段者から直接手ほどきが受けることができる講習会で指導を受けたりなどして、開祖生誕の地で研鑽を積んでいた。

現在、国内には約1500の合気道の支部道場があり、国外では90カ国に合気道が広まり、合気道人口は国内外で約200万人いると見られている。

20年前、第5回国際合気道大会が田辺市で開催された時には、海外から150人の参加であったと聞いていたので、今回の大会に参加して、合気道の広がりを実感した思いであった。

国際合気道大会は、オリンピックと同様、4年毎に世界各地で開催されてきたものであり、今回、愛媛県合気道連盟からは、会長の松森と副会長の鈴木茂師範ら4人参加した。



植芝盛守翁は、「武道の根源は、神の愛〜万有愛護の精神〜である。腕力や凶器をふるって相手を倒したり、兵器などで、世界を破壊に導くのではなく、武道とは、宇宙の気を整え、世界の平和を守り、森羅万象を正しく生産し、

守り育てることである。」という合気の道を究めた方です。

私たち、愛媛県合気道連盟から参加したメンバーは、開祖のお孫さんにあたる三代目・植芝守央現道主と一緒にすることができたので、田辺市を中心に開催された第10回国際合気道大会の講習会に参加し、外国の皆さんと一緒に稽古し心地よい汗をかくなど、各行事に加わることができた。

今回の大会を通して、合気道の稽古を続けている国内外の人たちと交流しながら、愛媛県に帰ってから、合気道国際大会のことを話し、合気道の普及にも力を入れようと思った。

合気道は、柔道、空手道に比べて、国内では、正しく合気道を知っている日本人は意外と少なく、むしろ、外国人の方が正しく合気道を理解していると感じることがある。

～合気道の普及活動は～

合気道は、押しつけではなく、地道に稽古し、良さを唱えている。それが結果として、理解した人たちにじわじわと広まって来たのではと、今回の国際合気道大会に参加して感じた。

～合気道の目的は～

合気道をやったことのない一般の人たちに対して、合気道のことを説明するのがなかなか難しいのですが、目的は優劣を競うことではありません。稽古を通じて自己を研鑽し、修養する。ひいては、相手を尊重して、和の心を養うのが目的です。開祖も、争わず真心がある至誠の人になることを目標にしております。

～合気道の今後の目標は～

組織が大きくなっても薄れていく部分がないようにするのがわれわれの役目だと思う。合気道の精神を大事にして良い形で後世に伝えていく。地道に稽古することで精神を啓発していきたい。

事業のご報告

○平成20年度 武道体験フェスタを開催

今回で5回目を数えるこの「武道体験フェスタ」は、多くの方に武道にふれる機会を提供し、武道に対する理解と関心を深め、武道の普及・振興を目的に新武道館開館以来、毎年開催しています。本年は、秋晴れの10月18日(土)、県スポーツ振興事業団と県内9の武道団体(柔道協会、相撲連盟、剣道連盟、銃剣道連盟、なぎなた連盟、空手道連盟、少林寺拳法連盟、合気道連盟)の主催により、開催されました。

主会場を5つのブロックに分け、午前の部は、空手道・なぎなた・銃剣道・柔道の4種目、午後の部は相撲・少林寺拳法・弓道・合気道の5種目の体験が行われました。幼稚園児や小学生の子供たちが活発的に体験に取り組む姿が見られました。

武道体験の合間には、武道にちなんだ〇×式のクイズ大会を実施し、大型映像に映し出される問題や回答に一喜し、武道に関する知識を学びました。

また、昼休みを利用した「武道館見学ツアー」には、30名を超える方にご参加いただき、県産品を活用した世界に誇る愛媛県武道館の充実した設備を見学していただき、「武道館をよく利用しているが、知らないことを学べてよかった。」など好評を得ました。

この「フェスタ」をきっかけに武道をはじめた子供たち

もあり、アンケートには、「柔道をはやくやりたい」(小2男)、「銃剣道をはやくやりたい」(小3男)、などの意見もあり、ご参加の方の武道に対する興味・関心の高さが伺われました。



○秋季バドミントン・卓球大会を開催

スポーツ・レクリエーション教室(種目問わず)の卒業生及び受講生を対象に、相互の親睦と体力向上を目的として、9月11日(木)に標記大会を開催いたしました。

大会の結果は以下のとおりです。

	バドミントンの部	卓球の部
優勝	シャトルコックスA (井上・大西)	06'ers (谷口・渡部)
準優勝	キラキラチーム (堀田・野口)	垣生卓友会C (永田・江原)
第3位	シャトルコックスC (金岡・中須賀)	垣生卓友会A (一色・中矢)
チーム数	11チーム	8チーム



愛媛県武道館では、今後、次の事業を予定しています。皆様のご参加お待ちしております。

行事名	開催日時(期間)	参加料	備考
後期スポーツ・レクリエーション教室	12～3月	有料	受講生募集中
栄養学教室	11月15日(土)		
	3月7日(土)		
レクリエーションバレーボール大会	11月26日(水)	無料	5周年記念事業
「媛の国」ふれあい柔道教室	12月20日(土)		
鏡開き式	1月11日(日)		
卓球・バドミントン大会(教室生による大会)	3月12日(木)		5周年記念事業

(予定は変更される場合がございます)